

福岡県地区医師会長殿

福岡県臨床皮膚科医会会長 井口 憲一郎
同・副会長、皮膚の日担当 松田 哲男

2005年《皮膚の日公開講座》のお知らせ

日本臨床皮膚科医学会では11月12日(いいひふ)を“皮膚の日”と設定し、毎年全国各地で種々のイベントを催しております。福岡県臨床皮膚科医会では平成9年より、毎年市民を対象にした公開講座を開催しています。年々参加者も増え、昨年は200名を超える方々にご来場いただきました。

本年の《皮膚の日公開講座》は11月6日(日)にアクロス福岡で行います。同封のパンフレットを地区の医師会会員の皆様に御配付いただき、多くの患者様に参加を呼び掛けいただくのみならず、各科で開業中の先生方や職員の方々にも広く御参加いただき、皮膚科医の考えを御理解いただければ幸甚に存じます。

本年の公開講座は“学校の皮膚病”の特集としました。厚生労働省、文部科学省の肝いりで皮膚科、整形外科などの学校相談医専門医を制度化する動きが全国各地で既に始まっています。福岡県では少し遅れ気味のようなのですが、学校相談医として皮膚科がどのような活動を行えるかをアピールしていきたいと存じます。学校でみられる皮膚疾患に焦点を当て、皮膚科専門医の立場からみた疾患の現状と、我々の取り組みを紹介させていただきます。演題および演者は、1)福岡県臨床皮膚科医会 桐生 博愛理事“学校相談医としての皮膚科医”、2)北九州市立医療センター 今福 信一部長“学校で伝染する皮膚病”、3)九州大学医学部皮膚科 占部 和敬助教授“アトピー性皮膚炎の診断・治療と問題点”、4)福岡県臨床皮膚科医会 松田 哲男理事“クラブ活動で伝染するたむし”の4題を予定しています。

小児科、内科の専門医の先生方をはじめ、各校校医の先生方など、児童、生徒を診療される機会の多い御施設の関係者の方々に、是非お出で戴きたくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 廣瀬真恵

第9回

皮膚の日公開講座

特集 《学校の皮膚病》

1) 13:00 “学校相談医としての皮膚科医”

福岡県臨床皮膚科医会 桐生博愛 理事

新しく制定される学校相談医制度。皮膚科医は学校にどのような役割を果たせるか、お話しします。

2) 13:15 “学校で伝染する皮膚病”

北九州市立医療センター皮膚科 今福信一 部長

水痘（みずぼうそう）、伝染性軟属腫（みずいぼ）など、皮膚に症状の出る感染症は沢山あります。その症状と対処法をわかりやすく解説します。

3) 14:00 “アトピー性皮膚炎の診断、治療と問題点”

九州大学医学部皮膚科 占部和敬 助教授

アトピー性皮膚炎の診断や治療を巡って、様々な論議がありましたが、近年ようやく一定の基準が示されました。最近、福岡市で行われた学校診断の結果と合わせてお話しします。

4) 14:45 “クラブ活動で伝染するたむし”

福岡県臨床皮膚科医会 松田哲男 理事

数年前から、柔道部などの格闘技系のクラブ活動によって、真菌（かび）による感染症が多発しています。その症状と対策を紹介します。

日時 2005年11月6日（日曜日） 開場 12:30

場所 アクロス福岡4階 国際会議場 **入場無料**

福岡市中央区天神1-1-1

TEL (092) 725-9107

主催 福岡県臨床皮膚科医会

福岡県臨床皮膚科医会では、多くの皆様に皮膚と皮膚病を理解してもらうために、皮膚の日（11月12日、いいひふ）を記念して講演会を開いています。本年は特集として、学校の皮膚病を企画致しました。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

お問い合わせ：第9回皮膚の日公開講座
事務局 TEL 092-291-5466

